

A0J2リニューアルツール

インタフェースユニット

SC-A0JQIF24R

SC-A0JQIF24T

SC-A0JQIF28AR

SC-A0JQIF28DR

SC-A0JQIF28DT

SC-A0JQIF32A

SC-A0JQIF32D

SC-A0JQIF56AR

SC-A0JQIF56DR

SC-A0JQIF56DT

ユーザーズマニュアル

このたびは、当社の A0J2 リニューアルツールインタフェースユニット（以下：インタフェースユニット）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

インタフェースユニットを正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本書をよくお読みいただき、インタフェースユニットの機能・性能を十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

ご注意

1. 許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。
2. 記載事項は、お断りなく変更することがありますので、ご了承ください。
3. シーケンスプログラムの置換えについての詳細は、三菱電機株式会社発行の『MELSEC-A0J2H シリーズから Q シリーズへの置換えの手引き』L(名)08056 を参照してください。

 三菱電機システムサービス株式会社

◆ 安全上のご注意

(ご使用前に必ずお読みください)

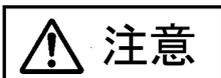
本製品のご使用に際しては、本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしていただくようお願い致します。

本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものです。

この◆安全上のご注意では、安全注意事項のランクを「警告」、「注意」として区分してあります。



取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損傷だけの発生が想定される場合。

なお、 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

設計上の注意事項



- 外部電源の異常や本製品の故障時でも、システム全体が安全側に働くように本製品の外部で安全回路を設けてください。誤出力、誤動作により、事故の恐れがあります。
 - ①非常停止回路、保護回路、正転／逆転などの相反する動作のインタロック回路、上限／下限など機械の破損防止のインタロック回路などは、本製品の外部で回路構成してください。
 - ②出力ユニットトランジスタなどの故障によっては、出力が常時 ON、常時 OFF 状態になる可能性があります。重大な事故につながるような出力信号については、外部で監視する回路を設けてください。
- 出力ユニットにおいて、定格以上の負荷電流または負荷短絡などによる過電流が長時間継続して流れた場合、発煙・発火の恐れがありますので、各出力チャンネルの外部にヒューズなどの安全回路を設けてください。
- Q シーケンサ電源及び本インタフェースユニットのユニット電源立上げ後に、外部供給電源を投入するように回路を構成してください。外部供給電源を先に立ち上げると、誤出力、誤動作により事故の恐れがあります。

設計上の注意事項

注意

- A0J2 リニューアルツールと合わせて使用される Q シーケンサのベースは A0J2 シリーズと異なり FG と同電位となっております。
- 制御線や電源ケーブルは、主回路や動力線などと束線したり、近接したりしないでください。100mm 以上を目安として離してください。ノイズにより、誤動作の原因になります。
- 出力ユニットでランプ負荷、ヒータ、ソレノイドバルブ等を制御するとき、出力の OFF→ON 時に大きな電流(通常の 10 倍程度)が流れる場合がありますので、定格電流に余裕のある出力ユニットの選定を行ってください。

インタフェースユニット取付け上の注意事項

注意

- 本製品は本ユーザーズマニュアルに記載の一般仕様で使用してください。一般仕様の範囲以外の環境で使用されると、感電、火災、誤動作、製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- 本製品の導電部分には直接触らないでください。誤動作、故障の原因になります。

配線上の注意事項

警告

- 配線作業は、必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電あるいは製品の損傷の恐れがあります。
- 配線作業後、通电、運転を行う場合は、必ず製品に付属の端子カバーを取り付けてください。端子カバーを取り付けないと、感電の恐れがあります。

注意

- FG 端子および LG 端子は、シーケンサ専用の D 種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作のおそれがあります。
- 本製品への配線は、製品の定格電圧および端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なった電源を接続したり、誤配線をするると、火災、誤動作の原因になります。
- 端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。
端子ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因となります。
端子ネジを締め過ぎると、ネジや製品の破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- 製品内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。
火災、故障、誤動作の原因になります。

立上げ・保守上の注意事項



警告

- 通電中に端子に触れないでください。感電の原因になります。
- 清掃、端子ネジの増し締めは、必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電の恐れがあります。
端子ネジの締め付けがゆるいと、短絡、誤動作の原因になります。
ネジを締め過ぎると、ネジや製品の破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。



注意

- 製品の分解、改造はしないでください。故障、誤動作、けが、火災の原因となります。
- ユニットの着脱は、必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。

廃棄時の注意事項



注意

- 本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

◆ 梱包品の確認

本製品はインタフェースユニットユーザーズマニュアル（本書）とインタフェースユニットの2点が梱包されています。

お客様が注文されたインタフェースユニットが梱包されているか、形名をご確認ください。

◆ 質量

インタフェースユニット	質量 [kg]
SC-AOJQIF24R	0.48
SC-AOJQIF24T	0.35
SC-AOJQIF28AR	0.44
SC-AOJQIF28DR	0.42
SC-AOJQIF28DT	0.36
SC-AOJQIF32A	0.40
SC-AOJQIF32D	0.34
SC-AOJQIF56AR	0.66
SC-AOJQIF56DR	0.62
SC-AOJQIF56DT	0.49

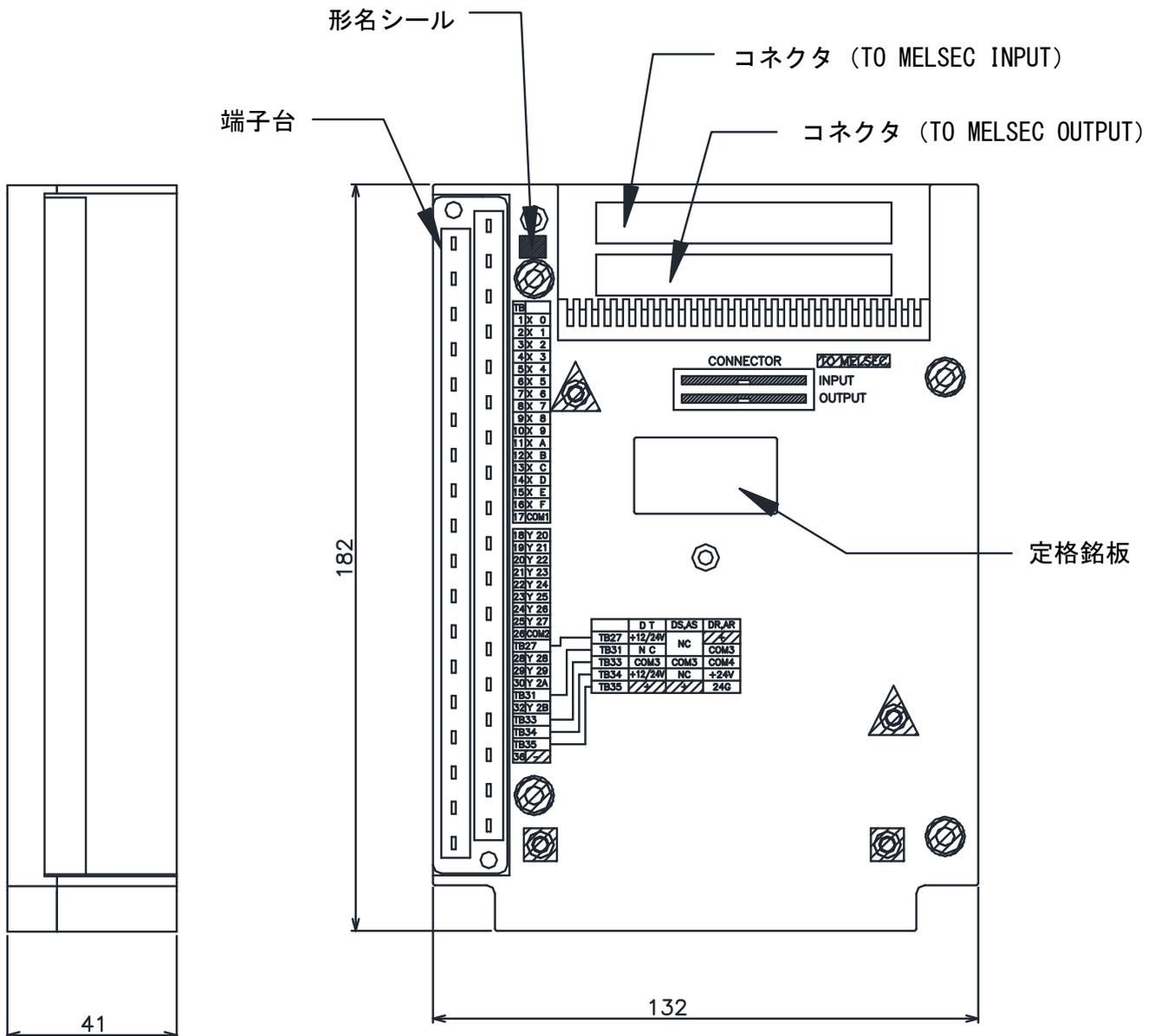
◆ 各部の名称

- SC-A0JQIF24R
- SC-A0JQIF24T
- SC-A0JQIF28AR
- SC-A0JQIF28DR
- SC-A0JQIF28DT
- SC-A0JQIF32A
- SC-A0JQIF32D

TO MELSEC INPUT → シーケンサの入力ユニット (QX41Y41P, QH42P の入力側、又は QX41 など) に接続

TO MELSEC OUTPUT → シーケンサの出力ユニット (QX41Y41P, QH42P の出力側、又は QY41P など) に接続

※SC-A0JQIF24R, SC-A0JQIF24T に INPUT コネクタは付いていません。
 ※SC-A0JQIF32A, SC-A0JQIF32D に OUTPUT コネクタは付いていません。
 ※SC-A0JQIF24R, SC-A0JQIF24T, SC-A0JQIF32A, SC-A0JQIF32D はケース上の表記が下図と異なります。

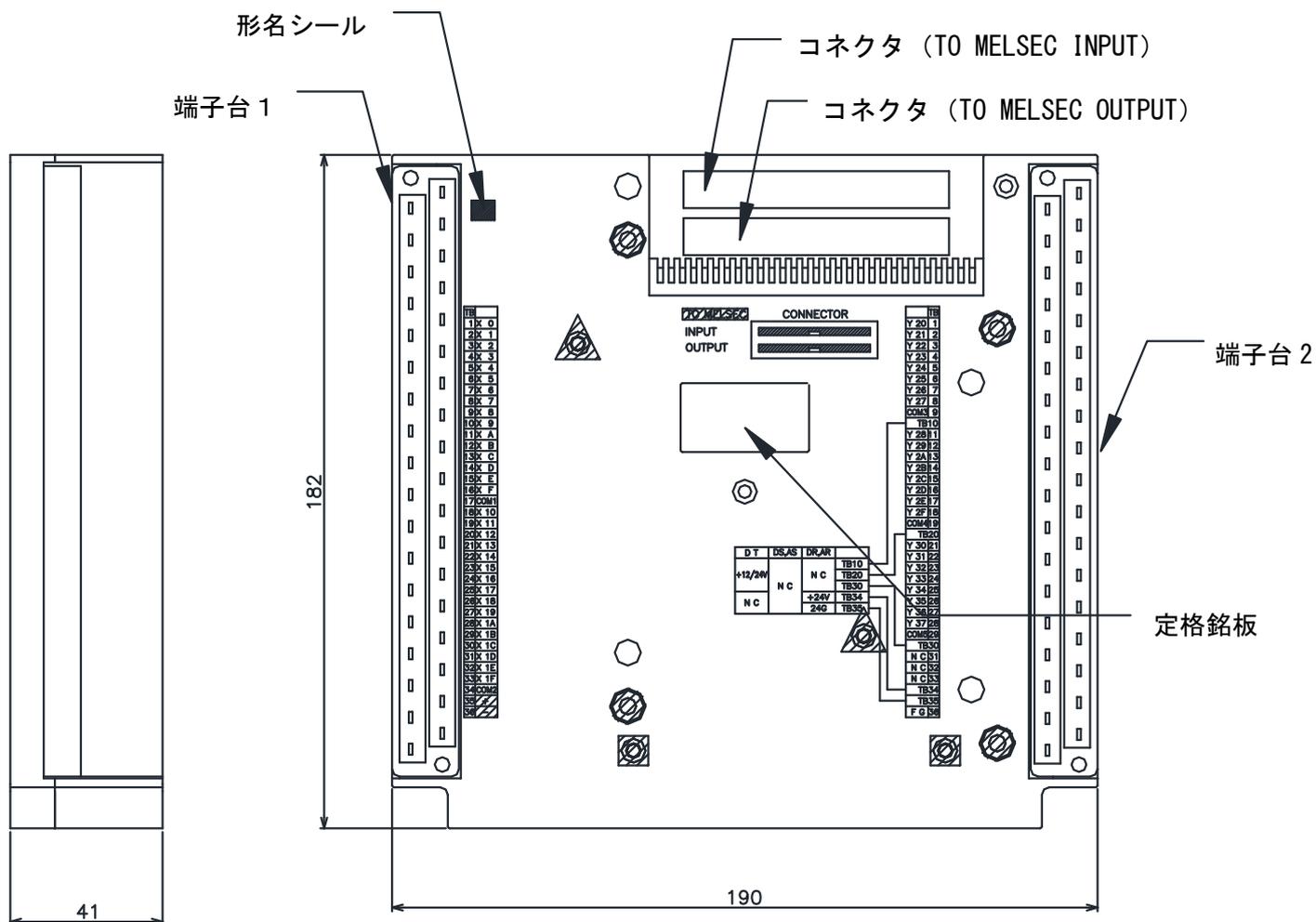


- ⊗ : ベースアダプタ固定ネジ穴 (4ヶ所)
- ⊗ : 電源端子台固定ネジ穴 (2ヶ所)
- ⊗ : 外部 DC24V 電源取付板固定用ネジ穴 (2ヶ所)

- SC-A0JQIF56AR
- SC-A0JQIF56DR
- SC-A0JQIF56DT

TO MELSEC INPUT → シーケンサの入力ユニット (QX41Y41P, QH42P の入力側、又は QX41 など) に接続

TO MELSEC OUTPUT → シーケンサの出力ユニット (QX41Y41P, QH42P の出力側、又は QY41P など) に接続



- ⊗ : ベースアダプタ固定ネジ穴 (4ヶ所)
- ⊗ : 電源端子台固定ネジ穴 (2ヶ所)
- ⊗ : 外部 DC24V 電源取付板固定用ネジ穴 (2ヶ所)

◆ 一般仕様

項目	仕様					
使用周囲温度	0~55℃(注1)					
保存周囲温度	-25~75℃(注1)					
使用周囲湿度	JIS B 3502, IEC61131-2 に適合 レベル RH-2 (5~95%RH, 結露なきこと)					
保存周囲湿度	JIS B 3502, IEC61131-2 に適合 レベル RH-2 (5~95%RH, 結露なきこと)					
耐振動	JIS B 3502, IEC 61131-2 に適合	断続的な振動 がある場合	周波数	加速度	振幅	X, Y, Z 各方向 10 回 (80 分間)
			10~57Hz	—	0.075mm	
		連続的な振動 がある場合	57~150Hz	9.8m/s ²	—	
			10~57Hz	—	0.035mm	
		57~150Hz	4.9m/s ²	—		
耐衝撃	JIS B 3502, IEC 61131 - 2 に適合 (147 m/s ² , X, Y, Z 方向各 3 回)					
使用雰囲気	腐食性ガスのないこと					
使用標高	JIS B 3502, IEC 61131 - 2 に適合 (2000m 以下) (注 2)					
設置場所	制御盤内					
オーバボルテージ カテゴリ	JIS B 3502, IEC 61131 - 2 に適合 (カテゴリ II 以下) (注 3)					
汚染度	JIS B 3502, IEC 61131 - 2 に適合 汚染度 2 以下 (注 4)					

注 1) 使用／保存周囲温度は、JIS B 3502, IEC 61131 - 2 の規定を超える必要条件を満たしています。

注 2) 標高 0m 付近で発生しうる大気圧以上に加圧した環境下では使用できません。故障する可能性があります。

注 3) その機器が公衆電線網から構内の機械装置に至るまでのどこの配線部に接続されていることを想定しているかを示す。カテゴリ II は、固定設備から給電される機器などに適用される。定格 300V までの機器の耐サージ電圧は、2500V。

注 4) その機器が使用される環境における導電性物質の発生度合を示す座標。汚染度 2 は、非導電性の汚染しか発生しない。ただし、たまたまの凝結によって一時的な導電が起こりうる環境。

◆ インタフェースユニット電源仕様

インタフェースユニットは既設 A0J2 シリーズに対して、別途ユニット電源が必要な為、下記表の消費電流が増加します。既設の DC24V 電源の電流容量を超える場合は、別途外部供給電源をご用意ください。

インタフェースユニット電源仕様

形名	SC-A0JQIF								
	24T	28AR	28DR	28DT	32A	32D	56AR	56DR	56DT
電流	70mA	105mA	100mA	130mA	210mA	200mA	210mA	200mA	260mA
電圧	DC24V±10%								

※SC-A0JQIF24R は消費電流の増加はありません。

※2 段積みの場合は消費電流は 2 台分になります。

※ユニット電源端子位置については端子台仕様参照

※Q シーケンサの入出力ユニットで消費する分も含まれます。

◆ 端子台仕様

【SC-A0JQIF24R, SC-A0JQIF24T】

端子名称	信号名	備考
TB1	Y20	出力
TB2	Y21	
TB3	Y22	
TB4	Y23	
TB5	Y24	
TB6	Y25	
TB7	Y26	
TB8	Y27	
TB9	COM1	外部供給電源
TB10		右表参照
TB11	Y28	出力
TB12	Y29	
TB13	Y2A	
TB14	Y2B	
TB15	Y2C	
TB16	Y2D	
TB17	Y2E	
TB18	Y2F	
TB19	COM2	外部供給電源
TB20		右表参照
TB21	Y30	出力
TB22	Y31	
TB23	Y32	
TB24	Y33	
TB25	Y34	
TB26	Y35	
TB27	Y36	
TB28	Y37	
TB29	COM3	外部供給電源
TB30		右表参照
TB31	NC	空き
TB32	NC	
TB33	NC	
TB34		右表参照
TB35		
TB36		

	24T	24R
TB10	+12/24V (外部供給電源)	NC (空き)
TB20		
TB30		
TB34	NC (空き)	+24V (外部供給電源)
TB35	+	24G (外部供給電源)
	(ユニット電源)	
TB36	-	FG (接地端子)
	(ユニット電源)	

注意

※ **+** と **-** は A0J2 シリーズにはありません。本インタフェースユニットで追加されたユニット電源の端子です。置き換え時には必ず電源を接続してください。

※ユニット電源はDC24V±10%の電圧を供給してください。

※SC-A0JQIF24T は TB36 の既設の FG 線を外してください。

【SC-A0JQIF28AR, SC-A0JQIF28DR, SC-A0JQIF28DT】

端子名称	信号名	備考	
TB1	X0	入力	
TB2	X1		
TB3	X2		
TB4	X3		
TB5	X4		
TB6	X5		
TB7	X6		
TB8	X7		
TB9	X8		
TB10	X9		
TB11	XA		
TB12	XB		
TB13	XC		
TB14	XD		
TB15	XE		
TB16	XF		
TB17	COM1	外部供給電源	
TB18	Y20	出力	
TB19	Y21		
TB20	Y22		
TB21	Y23		
TB22	Y24		
TB23	Y25		
TB24	Y26		
TB25	Y27		
TB26	COM2		外部供給電源
TB27			右表参照
TB28	Y28	出力	
TB29	Y29		
TB30	Y2A		
TB31		右表参照	
TB32	Y2B	出力	
TB33		右表参照	
TB34			
TB35			
TB36	—		ユニット電源

	DT	DR, AR
TB27	+12/24V (外部供給電源)	+
TB31	NC (空き)	COM3 (外部供給電源)
TB33	COM3 (外部供給電源)	COM4 (外部供給電源)
TB34	+12/24V (外部供給電源)	+24V (外部供給電源)
TB35	+	24G
	(ユニット電源)	(外部供給電源)

注意

※ **+** と **—** は A0J2 シリーズにはありません。本インタフェースユニットで追加されたユニット電源の端子です。置き換え時には必ず電源を接続してください。

※TB36の既設のFG線を外してください。

※ユニット電源は DC24V±10%の電圧を供給してください。

【SC-A0JQIF32A, SC-A0JQIF32D, SC-A0JQIF56AR, SC-A0JQIF56DR, SC-A0JQIF56DT】

端子台 1

端子名称	信号名	備考
TB1	X0	入力
TB2	X1	
TB3	X2	
TB4	X3	
TB5	X4	
TB6	X5	
TB7	X6	
TB8	X7	
TB9	X8	
TB10	X9	
TB11	XA	
TB12	XB	
TB13	XC	
TB14	XD	
TB15	XE	
TB16	XF	
TB17	COM1	外部供給電源
TB18	X10	入力
TB19	X11	
TB20	X12	
TB21	X13	
TB22	X14	
TB23	X15	
TB24	X16	
TB25	X17	
TB26	X18	
TB27	X19	
TB28	X1A	
TB29	X1B	
TB30	X1C	
TB31	X1D	
TB32	X1E	
TB33	X1F	
TB34	COM2	外部供給電源
TB35	+	ユニット電源
TB36	-	

端子台 2

端子名称	信号名	備考
TB1	Y20	出力
TB2	Y21	
TB3	Y22	
TB4	Y23	
TB5	Y24	
TB6	Y25	
TB7	Y26	
TB8	Y27	
TB9	COM3	外部供給電源
TB10		下表参照
TB11	Y28	出力
TB12	Y29	
TB13	Y2A	
TB14	Y2B	
TB15	Y2C	
TB16	Y2D	
TB17	Y2E	
TB18	Y2F	外部供給電源
TB19	COM4	
TB20		下表参照
TB21	Y30	出力
TB22	Y31	
TB23	Y32	
TB24	Y33	
TB25	Y34	
TB26	Y35	
TB27	Y36	
TB28	Y37	
TB29	COM5	外部供給電源
TB30		下表参照
TB31	NC	空き
TB32	NC	
TB33	NC	
TB34		下表参照
TB35		
TB36	FG	接地端子

注意

- ※ **+** と **-** は A0J2 シリーズにはありません。本インタフェースユニットで追加されたユニット電源の端子です。置き換え時には必ず電源を接続してください。
- ※ユニット電源は DC24V±10%の電圧を供給してください。
- ※SC-A0JQIF32A, SC-A0JQIF32D は端子台 1 の TB36 の既設の FG 線を外してください。

	DT	DR, AR
TB10	+12/24V (外部供給電源)	NC (空き)
TB20		
TB30		
TB34	NC (空き)	+24V (外部供給電源)
TB35		24G (外部供給電源)

◆ 入出力仕様

【DC 入力】対象機種：SC-A0JQIF28DR, SC-A0JQIF28DT, SC-A0JQIF32D, SC-A0JQIF56DR, SC-A0JQIF56DT

入 力 仕 様								
入 力 点 数	SC-A0JQIF28DR, SC-A0JQIF28DT : 16 点 SC-A0JQIF32D, SC-A0JQIF56DR, SC-A0JQIF56DT : 32 点							
絶 縁 方 式	フォトカプラ絶縁							
定 格 入 力 電 圧	DC12V	DC24V						
定 格 入 力 電 流	約 3mA	約 7mA						
使 用 電 圧 範 囲	DC10.2~26.4V (リップル率 5%以内)							
ON 電 圧 / ON 電 流	DC9.5V 以上 / 2.6mA 以上							
OFF 電 圧 / OFF 電 流	DC6V 以下 / 1.0mA 以下							
入 力 抵 抗	約 3.3K Ω							
入 力 形 式	シンク入力 (入力電流が流れ出る形式)							
応 答 時 間	OFF \rightarrow ON	5ms 以下 (1ms TYP.) *1						
	ON \rightarrow OFF	5ms 以下 (1ms TYP.) *1						
コ モ ン 方 式	16 点 1 コモン							
最 大 同 時 入 力 点 数	SC-A0JQIF28DR, SC-A0JQIF28DT : 100% (16 点 / 1 コモン) 同時 ON SC-A0JQIF56DR, SC-A0JQIF56DT : 60% (10 点 / 1 コモン) 同時 ON SC-A0JQIF32D は下記ディレーティング図を参照 *2							
回路図		ディレーティング図						
		<table border="1"> <caption>ディレーティング図データ</caption> <thead> <tr> <th>周囲温度 (°C)</th> <th>ON 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	周囲温度 (°C)	ON 率 (%)	50	100	55	75
周囲温度 (°C)	ON 率 (%)							
50	100							
55	75							

*1: Q シーケンサ入力ユニット(QX41Y41P, QH42P, QX41)は含まれません

*2: 既設ユニットと異なり、同時 ON 点数が周囲温度条件により変わります。ディレーティング特性を確認の上、ご使用ください。(QX41Y41P, QH42P, QX41 の仕様によりディレーティングが必要となります。)

入 力 仕 様							
入 力 点 数	SC-A0JQIF28AR : 16 点 SC-A0JQIF32A, SC-A0JQIF56AR : 32 点						
絶 縁 方 式	フォトカプラ絶縁						
定 格 入 力 電 圧	AC100-120V 50/60Hz						
定 格 入 力 電 流	10mA (AC100V, 60Hz)						
使 用 電 圧 範 囲	AC85~132V (50/60Hz±5%)						
0 N 電 圧 / 0 N 電 流	AC80V 以上/6mA 以上 (50Hz, 60Hz)						
0 F F 電 圧 / 0 F F 電 流	AC26V 以下/1.7mA 以下 (50Hz, 60Hz) *1						
突 入 電 流	最大 300mA 0.3ms 以内 (AC132V)						
入 力 イ ン ピ ー ダ ンス	約 10K Ω (60Hz) 約 12K Ω (50Hz)						
応 答 時 間	0 F F \rightarrow 0 N	14ms 以下 (11ms TYP.) *2					
	0 N \rightarrow 0 F F	19ms 以下 (13ms TYP.) *2					
コ モ ン 方 式	16 点 1 コモン						
最 大 同 時 入 力 点 数	SC-A0JQIF56AR : 60% (10 点/1 コモン) 同時 ON SC-A0JQIF28AR, SC-A0JQIF32A は下記ディレーティング図参照 *3						
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>回路図</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>ディレーティング図</p> <table border="1"> <caption>ディレーティング図データ</caption> <thead> <tr> <th>周囲温度 (°C)</th> <th>ON率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>		周囲温度 (°C)	ON率 (%)	50	100	55	75
周囲温度 (°C)	ON率 (%)						
50	100						
55	75						

*1:OFF 電圧/電流が置き換え前の機種より小さくなっていますので、使用しているセンサやスイッチの漏れ電流仕様が、OFF 電流値以下であることを確認してください。なお、漏れ電流が OFF 電流仕様以上となる場合は、ホームページ(URL <http://www.melco.co.jp/business/>)から『MELSEC-A0J2(H)システムから A0J2 リニューアルツールを使用した置換えの手引き』(X903070804)の『4.2 入力ユニットのトラブル対策』を参照して対策をお願いします。

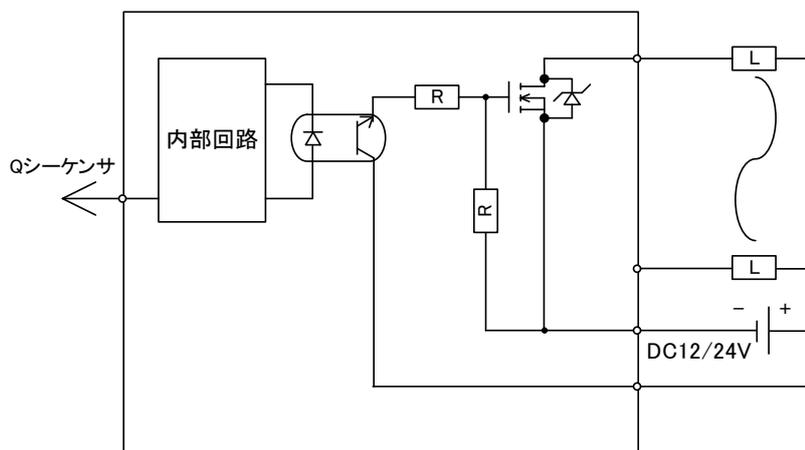
*2:Q シーケンサ入力ユニット(QX41Y41P,QH42P,QX41)は含まれません

*3:既設ユニットと異なり、同時 ON 点数が周囲温度条件により変わります。ディレーティング特性を確認の上、ご使用ください。(SC-A0JQIF32A は QX41Y41P, QH42P, QX41 の仕様によりディレーティングが必要となります。)

【トランジスタ出力】対象機種：SC-A0JQIF24T, SC-A0JQIF28DT, SC-A0JQIF56DT

出力仕様		
出力点数	SC-A0JQIF28DT : 12点 SC-A0JQIF24T, SC-A0JQIF56DT : 24点	
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	
定格負荷電圧	DC12/24V	
使用負荷電圧範囲	DC10.2~30V	
最大負荷電流	0.5A/1点, 4A/1コモン	
最大突入電流	4A 10ms以下	
OFF時漏洩電流	0.1mA以下	
ON時最大電圧降下	DC0.5V (TYP.) 0.5A DC0.8V (MAX.) 0.5A	
応答時間	OFF → ON	1ms以下*1
	ON → OFF	1ms以下 (抵抗負荷) *1
外部供給電源	電圧	DC12/24V (DC10.2~30V)
	電流	5mA (TYP. DC24V 8点1コモンON)
サージキラー	バリスタ (50.4~61.6V)	
コモン方式	SC-A0JQIF28DT : 8点1コモン, 4点1コモン SC-A0JQIF24T, SC-A0JQIF56DT : 8点1コモン	

回路図

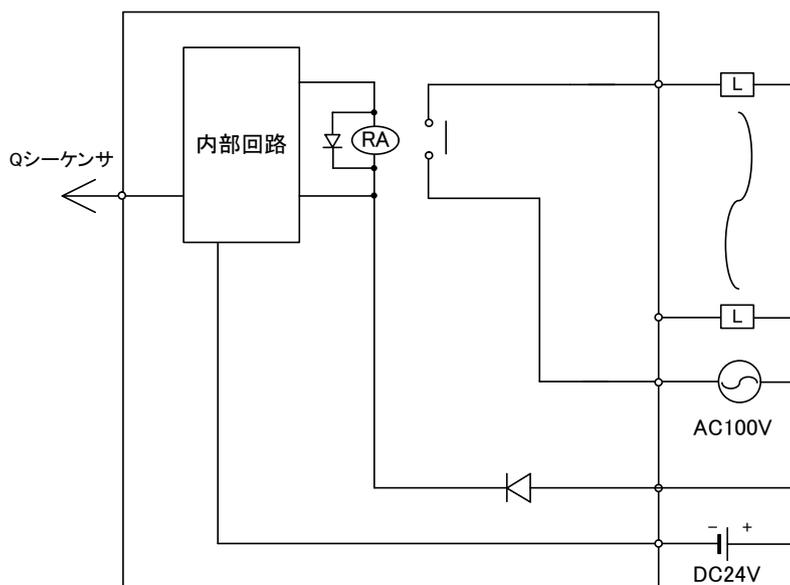


*1: Qシーケンサ出力ユニット(QX41Y41P, QH42P, QY41P)は含まれません

【リレー出力】対象機種：SC-A0JQIF24R, SC-A0JQIF28AR, SC-A0JQIF28DR, SC-A0JQIF56AR, SC-A0JQIF56DR

出力仕様		
出力点数	SC-A0JQIF28AR, SC-A0JQIF28DR : 12点 SC-A0JQIF24R, SC-A0JQIF56AR, SC-A0JQIF56DR : 24点	
絶縁方式	リレー絶縁	
定格開閉電圧・電流	DC24V2A(抵抗負荷) / 1点, 5A/1コモン AC240V2A(COSφ=1)	
最小開閉負荷	DC5V/1mA	
最大開閉電圧	AC264V DC125V	
最大開閉頻度	3600回/時	
寿命	機械的	2000万回以上
	電氣的	定格開閉電圧・電流負荷 20万回以上
		AC200V1.5A, AC240V1A(COSφ=0.7) 20万回以上
		AC200V0.75A, AC240V0.5A(COSφ=0.35) 20万回以上
応答時間	OFF→ON	9ms以下*1
	ON→OFF	11ms以下*1
外部供給電源 (リレーコイル 駆動用電源)	電圧	DC24V±10% リップル電圧4Vp-p以下
	電流	SC-A0JQIF28AR, SC-A0JQIF28DR : 125mA(DC24V全点ON) SC-A0JQIF24R, SC-A0JQIF56AR, SC-A0JQIF56DR : 230mA(DC24V全点ON)
サージキラー	なし	
コモン方式	SC-A0JQIF28AR, SC-A0JQIF28DR : 8点1コモン, 3点1コモン, 独立接点 SC-A0JQIF24R, SC-A0JQIF56AR, SC-A0JQIF56DR : 8点1コモン	

回路図



*1: Qシーケンサ出力ユニット(QX41Y41P, QH42P, QY41P)は含まれません

◆ 保証について

ご使用に関しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますよう、よろしくお願いたします。

1. 無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に、製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合、お買い上げいただいた販売店または当社支社／支店を通じて、無償で製品を修理、または代替品の提供をさせていただきます。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理が必要な場合は、技術者派遣に要する実費を申し受けます。

■無償保証期間

製品の無償保証期間は、製品ご購入後またはご指定場所に納入後1年間とさせていただきます。ただし、当社製品出荷後の流通期間を最長6ヶ月として、製造から18ヶ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また、修理品の無償保証期間は、修理前の保証期間を超えて長くなることはありません。

■無償保証範囲

- (1) 使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などに従った正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。
- (2) 無償保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象範囲から除外させていただきます。
 - ① お客様における不適切な保管や取扱い、不注意、過失などにより生じた故障。
 - ② お客様にて当社の了解なく製品に改造、修理などを加えたことに起因する故障。
 - ③ 当社製品が本来の使用法以外で使用されたことによる故障、または業界の通念を超えた使用による故障。
 - ④ 取扱説明書などに指定されたケーブルやアクセサリ、機器が正常に保守、交換されていれば防げたと認められる故障。
 - ⑤ 当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。
 - ⑥ 火災などの不可抗力による外部要因および地震、雷、風水害などの天変地異など、当社側の責ではない原因による故障。
 - ⑦ その他、当社の責任以外による故障またはお客様が当社責任外と認めた故障。

2. 生産中止後の有償保証期間

当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後7年間です。生産中止後の製品供給、代替品の供給はできません。

3. 機会損失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、利益の逸失・損失、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、交換に関わる費用、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。

4. 製品仕様の変更

カタログ、仕様書、技術資料などに記載されている仕様は、お断りなしに変更することがあります。

5. 製品の適用について

■使用条件

当社製品をご使用される場合は、万一、故障、不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること、バックアップなどの対策が実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。

■適用の除外など

- (1) 当社製品は、一般工業などへの用途を対象として設計・製造されています。原子力発電所およびその他発電所、鉄道や航空などの公共交通機関といった公共への影響が大きい用途や車両設備、医用機械、娯楽機械、安全装置、焼却設備、および行政機関や個別業界の規制に従う設備への使用で、特別品質保証体制をご要求になる用途には、適用を除外させていただきます。
- (2) 人命や財産に大きな影響が予測され、安全面や制御システムにとくに高信頼性が要求される用途には適用を除外させていただきます。

6. 海外でのサービス

海外でご使用の場合、現地アフターサービスはできません。

異常や故障などが発生し、アフターサービスが必要な場合は、日本国内で受け付けてさせていただきます。

◆ 製品のお問い合わせ

各製品に関するお問い合わせ先は、当社ホームページにてご確認ください。

www.melsc.co.jp/business/introduction/inquiry.html



三菱電機システムサービス株式会社

- ・お断りなしに内容を変更することがありますのでご了承ください。
- ・許可なく、本ユーザーズマニュアルの無断転載をしないでください。